

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	特別支援保育Ⅱ		教員氏名	大羽太郎		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	保育士必修		実務経験	特別支援学校	30年	
テーマ	特別支援学校の実践の講義に触れることで、教育現場での必要性を模索する。					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	特別支援保育Ⅰでの基本的原理的な学びを踏まえ、特別支援教育Ⅱでは実践の見地から授業を行う。 特別支援教育(保育)の現場での取り組みについて自分のこととして丁寧に考える体験を重ねること。 また、グループディスカッションなどを通じて自分とは違う他者の考えにも触れ、違いの中から学びとる力を養うこと。					
授業の到達目標	保育(教育)現場で必要とされる資質について深く掘りさげて考えられるようになること。					
	学生一人ひとりが自分と他者である子どもを整理して丁寧にとらえようとする体験になること。					
テキスト	授業のテキストとなる事例及び参考資料は随時配布・画像(動画)資料を実践的テキストとして重視する					
参考書	必要に応じて随時配布					
ポートフォリオ	ディスカッション等の記録・振り返り【考察】をまとめ、ファイルする					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○	
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他: 対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題 参加度 出席態度等	0	レポート課題の評価30%、質疑応答・発表及びディスカッション30%、授業への参加態度40%			
	その他	0	なし			
授業概要と課題						

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(自己紹介等を含む)、授業の進め方の説明、科目担当者の保育(教育)観・発達観・子ども観に触れる。	
	授業外学習	生徒一人ひとりが質問項目について自信の考えを自分の言葉で文章化しまとめる。	55分
第2回	テーマ 内容	「特別支援」の基本と教育(保育)の実践 (1) 第一回目のテーマに沿って文章化したものを各自が自分の言葉で簡単に説明できること。	
	授業外指示	説明について、質問したい内容や意見をまとめディスカッションの準備とする。	55分
第3回	テーマ 内容	「特別支援」の基本と教育(保育)の実践 (2) 可能であれば、10人程度のグループに分かれてディスカッションし、グループごとに報告をする。	
	授業外指示	自分たちのグループで話された事柄を整理しながら、自分の考えを新たにまとめてみる。	55分
第4回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(1-1) ある特別支援学校の取り組みについて映像(1)を見ながら現場の実践に触れる中で自分ならばどのように感じ、行動するか考える。	
	授業外指示	映像から学べたことや疑問に思ったことをまとめる。	55分
第5回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(1-2) アクティブラーニング① 疑問に思ったことなどをグループごとにディスカッションする。	
	授業外指示	ディスカッションでの内容をまとめ、自分の考えをまとめる。	55分
第6回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(1-3) アクティブラーニング② 映像、ディスカッションを経て得た自分の考えを発表し、意見をもらう。	
	授業外指示	得た意見とともに自信の考えを自分の言葉で文章化する。	55分
第7回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(2-1) ある特別支援学校の取り組みについて映像(2)を見ながら現場の実践に触れる中で自分ならばどのように感じ、行動するか考える。	
	授業外指示	映像から学べたことや疑問に思ったことをまとめる。	55分
第8回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(2-2) アクティブラーニング② 疑問に思ったことなどをグループごとにディスカッションする。	
	授業外指示	ディスカッションでの内容をまとめ、自分の考えをまとめる。	55分
第9回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(2-3) アクティブラーニング② 映像、ディスカッションを経て得た自分の考えを発表し、意見をもらう。	
	授業外指示	得た意見とともに自信の考えを自分の言葉で文章化する。	55分
第10回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(3-1) ある特別支援学校の取り組みについて映像(3)を見ながら現場の実践に触れる中で自分ならばどのように感じ、行動するか考える。	

おひらき	授業外指示	映像から学びえたことや疑問に思ったことをまとめる。	55分
第11回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(3-2) アクティブラーニング① 疑問に思ったことなどをグループごとにディスカッションする。	
	授業外指示	ディスカッションでの内容をまとめ、自分の考えをまとめる。	55分
第12回	テーマ 内容	特別支援保育の実際(3-3) アクティブラーニング② 映像、ディスカッションを経て得た自分の考えを発表し、意見をもらう。	
	授業外指示	得た意見とともに自信の考えを自分の言葉で文章化する。	55分
第13回	テーマ 内容	総括 テーマにそって討議ディスカッションする。12回の講義で自分がどのような変化をしたかも発表する。	
	授業外指示	テーマに沿って自分の考えをまとめたレポートを作成する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

各授業後のリアクションペーパーや小レポート等の課題から、担当教員が見えてきたことを受講者に還元する。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	特別支援保育Ⅱ		教員氏名	古橋真紀子	
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	教諭、保育士	17年
テーマ	特別な支援を必要とする幼児の障害特性と困難さを理解し、保育の方法を習得する。				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	各回のテーマに沿って、特別な支援が必要な子どもの保育上のニーズを理解して、具体的な保育の展開方法を考える力をつける。さらに特別な支援を要する子どもたちを含む学級の運営について、事例を通して考え、学ぶ。また、家族への支援についても学ぶ。 個人や小グループでの体験・ディスカッションおよび学生が主体となって発表を行う等参加型の授業を展開したり、DVD等の視聴覚教材も積極的に活用し、理解を深めることができるようにする。 障害児入所施設、通所施設、特別支援学校幼稚部、幼稚園、保育所等での実践経験をもとに事例をあげ、具体的保育場面をイメージして保育方法を考えることを通じて実践力が身につくように促す。				
授業の到達目標	1.特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。				
	2.特別な支援を必要とする幼児の心身の発達、心理的特性を理解している。 障害のある幼児の教育および生活上の困難について基礎知識を身に付けている。				
	3.母国語や貧困の問題等により特別な教育的ニーズのある幼児の教育上または生活上の困難や組織的対応の必要性を理解している。				
テキスト	『子どもの育ち合いを支えるインクルーシブ保育』小林保子編著 大学図書出版				
参考書	『特別支援学校幼稚部教育要領解説総則編』『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』				
ポートフォリオ	授業内で作成した課題やワークシートをポートフォリオに綴じる。				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他： 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験				
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	授業内提出課題50%、授業内確認テスト40%、授業参加度・出席態度10%		
	その他				
授業概要と課題					

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、授業の進め方、特別な支援が必要な子どもの保育とは	
	授業外学習	<予習>Googleclassroomにアップされたオリエンテーション動画を視聴する。 <復習>アンケートに回答して送信する。リアクションペーパーに記載して提出する。	55分
第2回	テーマ 内容	自閉症スペクトラムの幼児の困難さの理解と保育	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.25～30を読む。体験を踏まえ困難さについて理解したことをまとめる。	55分
第3回	テーマ 内容	発達障害のある幼児の困難さの理解と保育	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.20～24を読む。体験を踏まえ困難さについて理解したことをまとめる。	55分
第4回	テーマ 内容	身体障害のある幼児の困難さの理解と保育	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.39～45を読む。体験を踏まえ困難さについて理解したことをまとめる。	55分
第5回	テーマ 内容	子どもの理解に基づく保育①（事例検討）	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.20～24を読む。グループワークでの学びをワークシートにまとめる。	55分
第6回	テーマ 内容	子どもの理解に基づく保育②（事例検討）	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.25～30を読む。グループワークでの学びをワークシートにまとめる。	55分
第7回	テーマ 内容	子どもの理解に基づく保育③（ねらいに応じた遊具の工夫）	
	授業外指示	<予習>テキストP.96～104を読む。 <復習>事例児のねらいに合う環境（遊具）を作成する。	55分
第8回	テーマ 内容	個別の教育支援計画の作成とその評価①	
	授業外指示	<予習>テキストP.77～87を読む。 <復習>事例をもとに個別の教育支援計画を作成する。	55分
第9回	テーマ 内容	個別の教育支援計画の作成とその評価②	
	授業外指示	<予習>事例をもとに個別の教育支援計画を作成する。 <復習>グループワークでの気づきや学びをもとに教育支援計画を改善する。	55分
第10回	テーマ 内容	ともに育つクラス運営	

おひらき	授業外指示	<予習・復習>テキストP.10～19を読む。授業内容を復習し、積極的に理解に努める。	55分
第11回	テーマ 内容	多文化の子ども・養育環境による配慮を要する子どもの理解と保育	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.56～69を読む。授業内容を復習し、積極的に理解に努める。	55分
第12回	テーマ 内容	特別な支援が必要な子どもの保護者への支援	
	授業外指示	<予習・復習>テキストP.129～132を読む。授業内容を復習し、積極的に理解に努める。	55分
第13回	テーマ 内容	確認テスト（学びの振り返り）	
	授業外指示	<予習・復習>授業での学びを振り返る。ポートフォリオの整理をする。	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出された課題や発表内容について、授業時にフィードバックを行う。Googleclassroomでフィードバックを行うこともある。